

第4期多摩区区民会議 第5回コミュニティ部会

日時：平成25年6月28日（金）18：00～

会場：多摩区役所10階1002会議室

次 第

1 審議テーマに関する取組内容について ～具体的な取組、実施主体の検討～

2 その他

審議テーマ検討の観点

① 方向合致度

→多摩区の目指すべき姿に向かったものか（ひと・水・緑-住み続けたいまち 多摩区（都市マス多摩区構想））。

② 市民協働性・実現性

→市民協働の手法で解決できるものか。

③ 公益性

→広く区民の利益をもたらすものか。

④ 区民ニーズ・必要性

→区や区民の関心が高いものか、必要とされているものか。

⑤ 緊急性

→第4期で取り組むべきものか、早急な取り組みが必要か、時宜を得たものか。

第4期 多摩区区民会議委員名簿

平成24年11月6日現在

任期:平成24年7月1日～平成26年6月30日

(敬称略・50音順)

NO	氏名	部会	推薦団体 及び 活動団体
1	安倍 修司	自然災害部会	多摩区商店街連合会
2	荒井 精一	☆自然災害部会 企画部会	市民公募
3	○石橋 吉章	自然災害部会 企画部会	区長推薦
4	岩崎 宏政	自然災害部会	多摩区・3大学連携協議会
5	◎大津 努	コミュニティ部会 企画部会	多摩区社会福祉協議会
6	清宮 明	自然災害部会	多摩防犯協会
7	国保 久光	コミュニティ部会	川崎市医師会多摩区医師会
8	小塚 千津子	コミュニティ部会	多摩区こども総合支援連携会議
9	白井 正壽	コミュニティ部会	セレサ川崎農業協同組合
10	辻野 勝行	☆コミュニティ部会 企画部会	市民公募
11	○戸高 仁子	コミュニティ部会 企画部会	かわさきかえるプロジェクト
12	西山 英子	コミュニティ部会	多摩区文化協会
13	新田 渉世	自然災害部会	区長推薦
14	配島 裕美	コミュニティ部会	多摩区地域教育会議
15	原田 弘	自然災害部会	多摩交通安全協会
16	藤原 司	自然災害部会	区長推薦
17	細埜 隆己	★自然災害部会 企画部会	登戸土地区画整理事業まちづくり推進協議会
18	本多 正典	コミュニティ部会	市民公募
19	松本 英嗣	★コミュニティ部会 企画部会	多摩区町会連合会
20	吉田 輝久	自然災害部会	多摩区自主防災組織連絡協議会

◎委員長 ○副委員長 ☆部会長 ★副部会長

【参与】

市議会議員

井口 真美 河野 ゆかり 斉藤 隆司 菅原 進 露木 明美
橋本 勝 廣田 健一 三宅 隆介 吉沢 章子

県議会議員

青山 圭一 土井 りゅうすけ

第4期多摩区区民会議 開催スケジュール

平成 25 年 6 月 28 日現在

		平成 24 年度									平成 25 年度													
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
区民会議 (全体会議)	区民会議 ニュース	★ 第1号発行									★ 第2号発行			★ 第3号発行						★ 第4号発行				
	ミーティング ・ フォーラム	第1回 ● 8/24 ● 8/24 ● 8/24 地域課題について 区民会議の説明			第2回 ● 9/25 ● 9/25 ● 9/25 審議テーマの ア出し			第3回 ● 10/23 ● 10/23 ● 10/23 審議テーマ案の決定 部会案の決定			区民会議フォーラム ■ 11/23 (土・祝)													
	全体会議	第1回 ■ 8/30 ● 8/30 ● 8/30 ・運営方法の確認 ・審議テーマの検討			第2回 ■ 11/6 ● 11/6 ● 11/6 ・審議テーマの決定 ・部会の設置			第3回 ■ 2/12 ● 2/12 ● 2/12 ・現状と課題の 全体審議			第4回 ■ 5/28 ● 5/28 ● 5/28 ・解決策・取組内容・ 実施主体の検討			第5回 ■ 9/4 ● 9/4 ● 9/4 ・解決策・取組内容・ 実施主体の検討 ・フォーラムの検討			第6回 ・フォーラム結果を 受けた最終報告 書の検討 ・もしくは フォーラム前 の内容確認			第7回 ■ ● ● ・最終報告書の確認			区長へ結果報告 (最終報告書)	
企画部会 (調整・運営部会)					事前調整 ● 2/4			事前調整 ● 5/22			事前調整 ●			事前調整 ●			事前調整 ●			事前調整 ●				
専門部会	コミュニティ部会	審議テーマに関する現状・課題の把握(※)									・解決策の検討 ・実施主体の検討			・取組内容の検討 ・モデル的な取組の実施			最終報告に向けてのまとめ							
	自然災害部会	審議テーマに関する現状・課題の把握(※)									・解決策の検討 ・実施主体の検討			・取組内容の検討 ・モデル的な取組の実施			最終報告に向けてのまとめ							

*適宜現地視察や、関係者ヒアリング、勉強会などを開催。

コミュニティ部会「顔の見える地域に根ざした「絆」を構築する」検討用シート

テーマ	現状と課題	解決の方向・解決策	具体的な取組	実施主体
地域に参加してもらってしなやかにつく	<p>【現状】 人々の地域との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> 定年退職した男性はそれまで地域との接触が少なかったため、退職後地域活動に関わるよりも会社から開放された自由を楽しむ気持ちが強く、なかなか地域に出てこない。 若い人は仕事中心で時間がなく、地域への参加はむずかしい。 子どもたちは低学年までは地域との接触があるが、高学年になると塾・習い事などで地域に参加できる時間がないため、イベントなどに出てくる子どもが少ない。 戸建住宅の住民は顔見知りになる機会が多いがマンションに住んでいる住民とは顔見知りになる機会が少ない。 <p>【課題】 地域に出てくるしなやかにつく</p> <ul style="list-style-type: none"> 退職して家に引きこもりがちの人たちが地域に出るきっかけが必要。好きなことで引っぱり出すしか方法はないだろう。さまざまな能力をもった退職高齢者を地域に引き出すことが必要だ。 やる気のある人は多少の困難があっても、時間をつくって、どんなところだって出ていく。やる気のない人をどうやって引っぱり出すかが課題だ。 地域に出て来ない人であっても、本当はどこかのコミュニティに属したいのではないか。出てこない人をどうやって出てこさせるようにするかが、コミュニティ部会の目的ではないだろうか。 地域の集まりではみんな挨拶や会話をしている。これをどう共助につなげていけるか。 人はたまたま出会ったものを面白い、楽しいと感じて活動が続く。外に出ない人でも、そういう出会いの場をどうしたらつくれるかを考えるとよい。 	<p>地域に出てくるしなやかにつく 区民がそれぞれの関心に応じて地域や住民と触れ合える仕掛けを考案し、多くの区民が地域に出てくる機会を増やすことをめざす。</p> <p>(1) イベントカレンダーの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のイベント、行事、祭りなどを載せたイベントカレンダーを作る。 <p>(2) 多様な趣味にふれあえるしなやかにつくの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 人々がふらっと参加でき、多様な趣味とのふれあいを楽しめるしなやかにつくを考案する。 <p>(3) 農業の切り口から地域の絆が生まれるしなやかにつくの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩区らしい絆づくりとして、農業、食育、健康をテーマにしたしなやかにつくを検討する。 	<p>(1) イベントカレンダーの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政関係イベントと地域教育会議が把握する地域イベントをベースに、まち協で調べた祭り、せせらぎ館実施イベントを加え情報収集する。 イベントの掲載方針・基準を決め、情報を選択し、媒体の選択、周知方法、情報の更新方法などを検討する。 <p>(2) 多様な趣味にふれあえるしなやかにつく</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学びのフェア」に参加し、囲碁・将棋教室など退職男性が興味を持てる企画を実施し、ふれあいの機会をつくる。 <p>(3) 農業の切り口から地域の絆が生まれるしなやかにつく</p> <ul style="list-style-type: none"> 農産物をその場で料理するなど、農業、食育、健康のテーマを一度に体験できる活動を行うことを提案する。 	
コミュニケーション能力をはぐくむ	<p>【現状】 地域参加のしなやかにつく</p> <ul style="list-style-type: none"> 本人が気楽に参加したい気持ちになって、その活動の居心地がよければ、続く 人は誰でも必ず食事をするから、イベントには出て来ない人も食事なら来るということで、多摩ニュータウンには「福祉亭」という食堂がある。地域の絆づくりのためにコミュニティカフェを始めた。 わくわくプラザには1～3年生の子どもたちが20～60人くらい来ている。そういう場に地域の人も手伝いにきている。 大学生によっては、コミュニケーション能力が身につけていないために、学校生活を続けられない学生が生まれた。ある大学では学生に対して大学生活の送り方を学習する機会を設けている。 場所ありきではないだろう。人と仕掛けがあれば、場所はあとからついてくる。 <p>【課題】 コミュニケーション能力をはぐくむ</p> <ul style="list-style-type: none"> 合築のこ文と老人いこいの家では、高齢者との間に好きなことを教え、教えられる関係が生まれ、楽しい活動が続いている。こうした活動を広げられないか。 人とコミュニケーションできる能力がすべての基本である。それが薄れてきた最近の状況をどうやって変えることができるかを考えることが必要だ。 挨拶ができる関係から、コミュニティは始まる。挨拶運動、声かけ運動も必要だ。 	<p>コミュニケーション能力をはぐくむ 知り合いになるためのきっかけとして気軽にあいさつを交わせるようなコミュニケーション能力をはぐくむ仕掛けを検討、推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 体操は健康・長寿に役立ち、あいさつできる関係につながるのでみんなで集まって行う体操の普及を検討する。 地域内であいさつできる関係が生まれる集まりの開催手法を検討する。 	<p>(1) あいさつ運動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操を多世代参加型に変えるアイデアを検討し提案する。 地域でも行事に多世代で参加できる企画を提案する。 	

■ コミュニティ部会—区長への結果報告までの具体的な道筋を見通し、作業を進めよう！

	具体的な取り組み	6月	7月	8月	9月	10月	11月	まとめ期間 (11月24~3月中旬)			区長への結果報告 成果物のイメージ (実施主体を明示)
		部⑤ 6/28			全⑤ 9/4			フォーラム11/23 (土)	全⑥ 12月中旬	全⑦ 3月中旬	
地域に参加してもらって つなげかけづくり	● イベントカレンダーの作成		イベント資料 <ul style="list-style-type: none"> 行政関係 地域教育会議 収集済み					<p>11月</p> <p>例えば、テスト版を提示し、意見を聞く？</p>			
	● 学びのフェアで出会うの趣味活動 (多様な趣味にふれあえるしかけ)			市民館デー (8/25) ・1部屋使用可能 ・囲碁セット 15組あり。 ・将棋、トランプなどの可能性は？				<p>3/16 日フェア内での実施案の提示と議論？</p> <p>実行委員会への参加が必要</p>			
	● 農・食育・健康活動 (農業の切口から地域の絆が生まれるしかけ)							11/2 (土) 「食育の秋 in よみうりランド」 地域保健福祉課	<p>お試しイベントの報告と議論？</p>		
コミュニケーション能力を育む	● あいさつ運動の展開 ・ラジオ体操を多世代参加型に ・地域行事を多世代参加型に			・ラジオ体操の実態調査 (人数、期間、参加世代) ・参加できるところにフィールドワーク				<p>数町内会・自治会で実施したお試し結果の報告と議論？</p>			